

## 東海における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学 大学院看護学研究科 教授）

研究協力者：石田敏彦、藤浦裕二、藤井良樹（ANGEL LIFE NAGOYA）

### 研究要旨

クリニック検査については、広域の地方圏である岐阜市内の利便性が高いクリニックから協力の承諾を得て、検査提供を行った。また名古屋市の利便性の高い繁華街の性感染症クリニックのみならず、新たに岐阜県内においても新規のクリニックを開拓し協力を得た。4 クリニックで総計 43 名の利用があった。年間の HIV の陽性件数は 3 件であった。梅毒は既往歴と新規感染合わせて 11 名の陽性が見られた。また岐阜県と協働で新たに岐阜県内の医療機関での臨時 HIV と梅毒検査提供機会の設定についてエンジェルライフナゴヤはその検査広報に協力した。

ゆうそう検査は、総計 132 キットを配布した。コミュニティセンター rise やゲイ向け商業施設に出向いての対面配布が 40 件、WEB での配布が 92 件であった。アンケートに回答したものは 120 名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは 101 名であった。HIV 陽性件数は 0 件、梅毒の陽性件数は 18 件（既感染も含む）であった。郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 22 名においては、東海地域の居住者が 100.0%、生涯初の検査経験割合は 4.5% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 59.1% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 22.7% を占めた。

今年度も新型コロナウイルス感染症に伴う自粛宣言に対応しながら、クリニック検査とゆうそう検査の同時進行を行った。配布件数は昨年より増加した。

### A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令

和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、東海地域では大阪や中四国で成功を収めてきた民間医療機関を活用した

HIV と梅毒の検査提供（通称クリニック検査）をモデルとし展開することとした。

また自己採血により検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査もコミュニティセンターでの対面配布、WEB 配布を実施した。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布を実施し、検査普及における有効性の評価を行った。

## B.研究方法

### 1) クリニック検査

大阪や中四国で成功を収めてきたクリニック検査の先行事例を解析し、その方法を参考に実施した。東海地域の中でも、面積が広く、検査アクセスに課題がある岐阜県において民間医療機関を開拓、協力を依頼し、新たな検査プログラムを実施した。また名古屋市内の利便性の高い場所に開所している民間医療機関にも協力を依頼し、実施した。本年度から岐阜県内において新たにクリニックを 1 件開拓し、総計 4 機関で検査を提供した。

第 1 期を令和 4 年 6 月 1 日から 7 月 30 日まで HIV 検査と梅毒の検査提供を行った。医療機関への協力依頼、Twitter 等 SNS での告知、出会い系アプリや SNS アプリを使った広報は ANGEL LIFE NAGOYA が担当した。

受検者には検査提供医療機関で自記式アンケートも実施し、協力を要請した。

また岐阜県と協働で新たに岐阜県内の医療機関での臨時 HIV と梅毒検査提供機会の設定についてエンジェルライフナゴヤはその検査広報に協力した。

### 2) ゆうそう検査

東海地域在住の MSM や名古屋市 of MSM 向け商業地域(コミュニティセンター rise の所在地) にアクセスできる MSM を対象に、ポスターやコミュニティペーパーなど紙媒体による広報展開も実施した。対面配布を実施した。コミュニティセンターと商業施設(ハッテン場)にて配布会を実施した。

ゆうそう検査は、総計 132 キットを配布した。コミュニティセンター rise やゲイ向け商業施設に出向いての対面配布が 40 件（うち、コミュニティセンター 20 件、ハッテン場 20 件）、WEB での配布が 92 件であった。

本研究計画はいずれも名古屋市立大学看護学部倫理審査委員会により実施の承認を得た。

## C.研究結果

### 1) クリニック検査

これまでの東海地域で実施してきた各種の調査データを用い、啓発戦略を策定した。東海地域では、2003 年より名古屋医療センター、ANGEL LIFE NAGOYA、行政（名古屋市）が連携して大規模検査会を実施してきている。その際にも検査を知るきっかけは SNS、口コミ、出会い系アプリでの広告が最も多いことに鑑み、本プログラムでも MSM 向けの出会い系アプリ広告を活用した。

新型コロナウイルス感染症の再拡大が起き、緊急事態宣言が出されていたため、紙資材を用いたゲイバー等への情報アウトリーチは十分に展開できなかった。岐阜市内のクリニックは 6 名の利用者がいた。また名古屋市

のクリニックは30名、豊橋市内のクリニックは7名の利用があった。令和4年度の受検者の詳細については資料で示す。

とうかいクリニック検査 実施結果

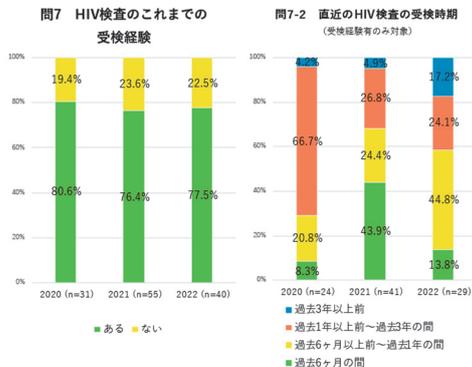
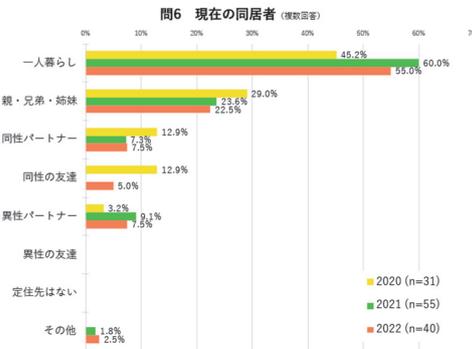
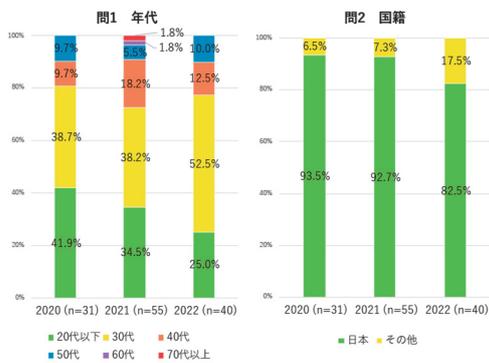
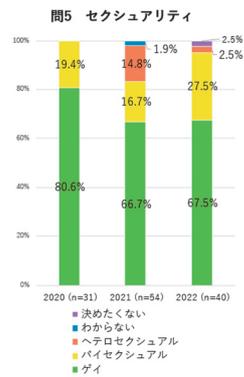
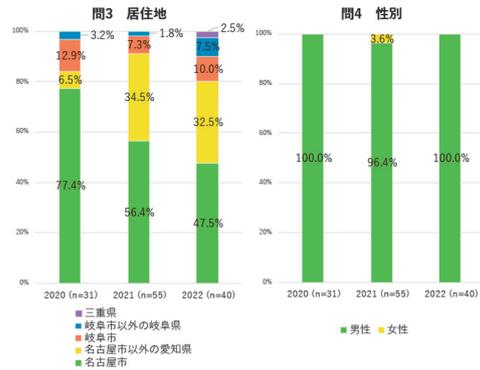
2020年度	
2021/1/12 -2/26	受検者31名 (HIV陽性1名、梅毒陽性9名)
2021年度	
第1期 2021/8/1 -9/30	受検者48名 (HIV陽性1名、梅毒陽性9名)
第2期 2022/1/31 -2/26	受検者9名 (HIV陽性1名、梅毒陽性3名)
2022年度	
2022/6/1 -7/30	受検者43名 (HIV陽性3名、梅毒陽性11名)

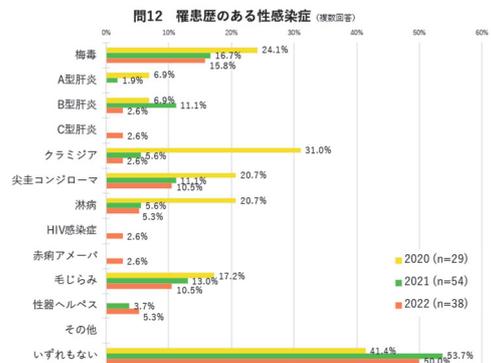
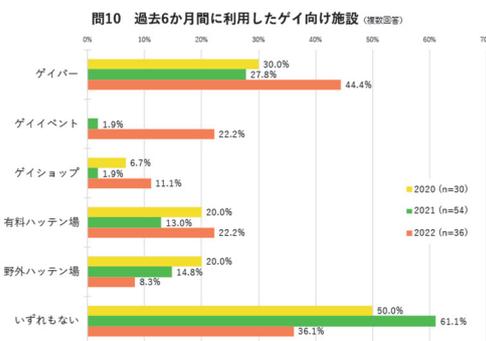
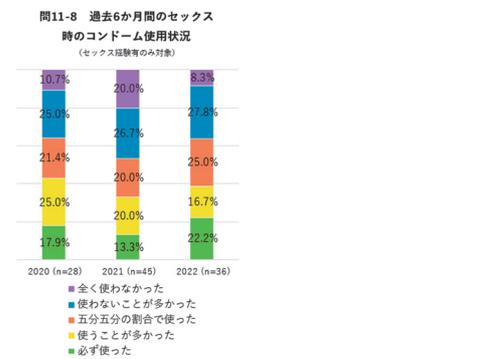
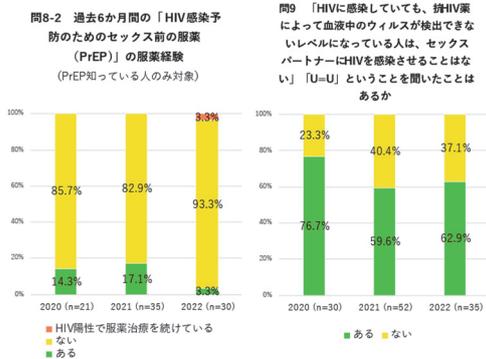
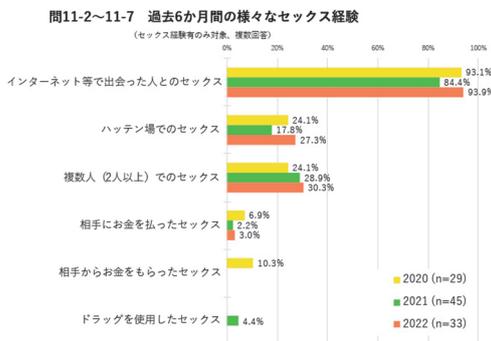
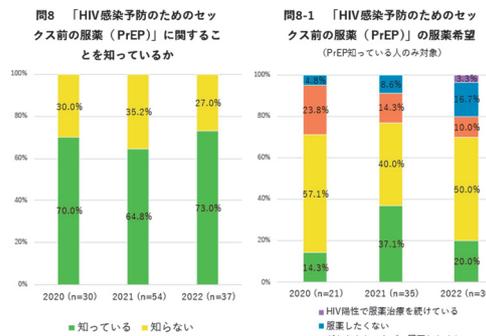
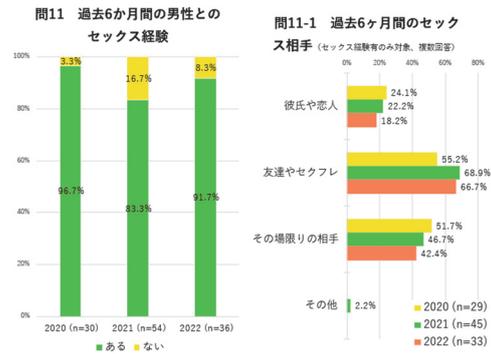
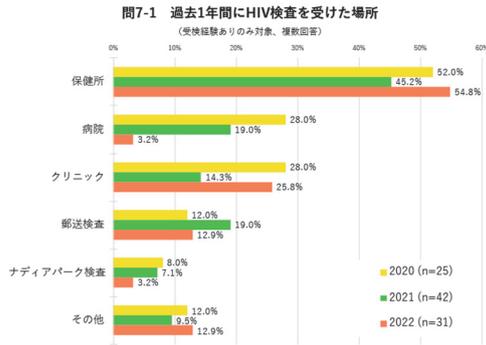
3年間の合計  
受検者131名 (HIV陽性率4.6%、梅毒感染率24.4%)

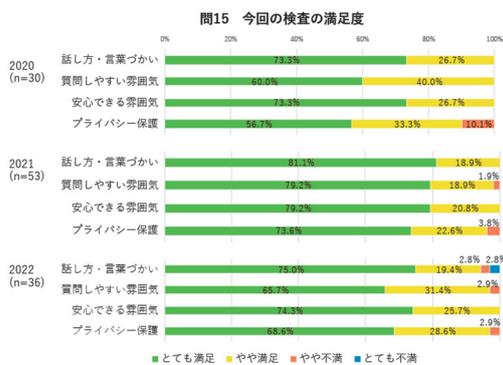
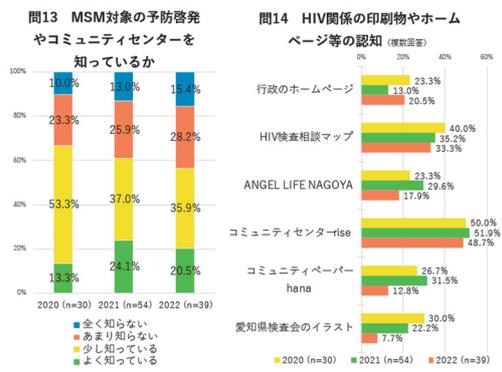
## とうかいクリニック検査 アンケート集計結果

### 2020-2022 年度別比較

2020年度 31名  
2021年度 55名  
2022年度 40名







## 2) ゆうそう検査

新型コロナウイルスの拡大が続いていたため、紙資材を用いたゲイバー等への情報アウトリーチは十分に展開できなかった。

総計 132 キットを配布した。コミュニティセンターrise やゲイ向け商業施設に出向いての対面配布が 40 件、WEB での配布が 92 件であった。アンケートに回答したものは 120 名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは 101 名であった。HIV 陽性件数は 0 件、梅毒の陽性件数は 18 件（既感染も含む）であった。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 22 名においては、東海地域の居住者が 100.0%、生涯初の検査経験割合は 4.5%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 59.1%であった。MSM 対象の予防啓発やコ

ミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 22.7%を占めた。

また WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 38 名においては、東海地域の居住者が 60.5%、生涯初の検査経験割合は 31.6%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 71.1%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 60.5%を占めた。

表 1 郵送検査利用者の概要

	地域	愛知
	CBO	ANGEL LIFE NAGOYA
	コミュニティセンター	rise
a 配布数		132
対面配布数		40
WEB配布数		92
b 受検者アンケート回答者数		120
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		101
対面配布数(c対面/a対面)		26 ( 65.0%)
WEB配布数(cWEB/aWEB)		75 ( 81.5%)
利用率計；配布数に占める利用者数(c/a)		76.5%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		96 ( 95.0%)
<b>抗体検査結果</b>		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		1 ( 1.0%)
f 陽性数 (割合 f/c)		0 ( 0.0%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		0.0 ( 0.0%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		6 ( 5.9%)
h 陽性数 (割合 h/c)		18 ( 18.9%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		8.5 ( 8.9%)
i 追跡可能者数；無料ID利用者数 (割合 i/c)		60 ( 59.4%)
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		74 ( 73.3%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		46 ( 45.5%)

\* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乘じて求めた。

\*\* すべての集計より再受検の重複は除いた。

## D.考察

クリニック検査やゆうそう検査いずれも、資材は作成したが配布直前から緊急事態宣言による時間短縮があり、主要なゲイバーがほとんど営業しないことになり、紙媒体配布の効果は薄くなった。

愛知県と名古屋医療センターが行っている無料 HIV・性感染症検査会にコロナ禍以

前の過去 5 年は毎年 600~700 名の MSM が受検していた。検査意識の高い層をクリニック検査やゆうそう検査に受検促進する広報が不十分であったといえる。

東海地域はクリニック検査 3 年目を実施した。MSM や HIV に理解のある医療機関を、名古屋で 1 機関、三河地域で 1 機関、と岐阜市内で 1 機関、岐阜県内の 1 クリニックの協力を得た。今後も協働関係を継続していくことが重要であると考え。より民間医療機関で提供する検査が定着、継続可能なものとなるよう行政とも連携して進めていくことが望まれる。

またゆうそう検査キットの配布を継続していくなかで、受検意識が高い層は東海地域クリニック検査を利用していることもあり、アウトリーチの範囲を広げていく必要がある。

他研究班による検査提供や、本研究班のクリニック検査の時期とかぶったなかで検査機会の促進に取り組んでいることから、他の検査提供機会と時期を調整しつつ、必要な層に訴求していくことが求められる。

## E.結論

新しく新規に HIV 検査と梅毒検査が提供可能なクリニックを岐阜県に開拓し、協力を得た。また名古屋市のクリニックでも夏だけではあったが 43 名の利用があり、3 名の HIV 陽性があった。

岐阜県は行政と HIV、梅毒検査を民間医療で提供する取り組みを協働で実施した。より民間医療機関で提供する検査が定着、継続可能なものとなるよう行政とも連携して進めていくことが望まれる。

ゆうそう検査では WEB 配布と対面配布

の両方を実施し、WEB 配布の方が東海地域のみの利用者ではなかったが、初受検の割合も高く、コミュニティセンターの認知も低いことから、リーチしにくい層に届いていた可能性が示唆された。

## F.研究発表

### 1.論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020.DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. *日本エイズ学会誌*, 22(3), 136-146, 2020.
- 5) 今橋真弓, 金子典代, 高橋良介, 石田敏彦, 横幕能行: 名古屋市無料匿名性感染症検査会受検者における性感染症既往

認識と検査結果. 日本感染症学会誌, 31(1), 2020. doi:10.24775/jjsti.S-2019-0003.

## 2.学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.
- 2) Benjamin R. Bavinton, Adam Hill, Natalie Amos, Sin How Lim, Thomas Guadamuz, Noriyo Kaneko, Martin Holt, Adam Bourne: Low PrEP uptake among gay, bisexual, and other men who have sex with men in five Asian countries: Results of the Asia Pacific MSM Internet Survey. The 11th IAS - the International AIDS Society - Conference on HIV Science, Virtual, 2021.
- 3) Adam O Hill, Benjamin R Bavinton, Noriyo Kaneko, Lise Lafferty, Anthony Lyons, Stuart Gilmour, Jennifer Power, Gregory Armstrong: Associations between social capital and HIV risk-taking behaviours among men who

have sex with men in Japan. 2021 Joint Australasian Sexual Health and HIV&AIDS Conferences, Virtual, 2021.

## 3.学会発表 (国内)

- 1) 金子典代:U=Uをめぐる陽性者とHIV予防対策と医療者のあり方について. 日本エイズ学会シンポジウム, 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB開催, 2020
- 2) 林田庸総、柏木恵莉、土屋亮人、高野操、青木孝弘、瀧永博之、菊池嘉、岩橋恒太、金子典代:乾燥ろ紙血によるHIV Ag/Ab郵送検査の検査ラボでの結果についての検討. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB開催, 2020
- 3) 荒木順、金子典代、木南拓也、柴田恵、岩橋恒太、藤原孝大、鈴木敦大、小山輝道、高久道子、高久陽介、市川誠一、張由紀夫、生島嗣:ゲイバー等との連携による「LivingTogetherのど自慢」の実践とその効果について. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB開催, 2020
- 4) 井上洋士、後藤大輔、舩石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代:成人前期(20歳代)MSMでの性行動とHIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB開催, 2020
- 5) 高橋良介、末盛慶、金子典代、石田敏彦:NLGR+への参加状況とHIV抗体検査受検経験の関連性. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB開催, 2020
- 6) 金子典代:日本のMSMにおけるHIV

- 検査の促進、阻害要因に基づく検査拡大戦略。第 1 回 Fast-Track Cities Workshop Japan, Tokyo, 2021
- 7) 金子典代：MSM を対象とした HIV 検査促進プログラムの変遷と HIV 検査機会拡大にむけた新たな試み。日本エイズ学会シンポジウム，第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2021
- 8) Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjamts, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa：Studies on mitigating stigma and developing an awareness program targeting a population at risk for HIV infection in Mongolia. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2021
- 9) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：トランスジェンダーとセクシュアルヘルス。GID 学会第 23 回研究大会・総会，WEB 開催，2022
- 10) 金子典代、浅沼智也、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：性別違和・トランスジェンダー当事者における性産業従事経験、性行動、性感染症の罹患、検査の実態。第 36 回日本エイズ学会学術集会・総会，浜松，2022

#### G.知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

- |          |    |
|----------|----|
| 1.特許取得   | なし |
| 2.実用新案登録 | なし |
| 3.その他    | なし |

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	アンケート		ID使用				ID不使用				合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
<b>配布CBO</b>													
ANGEL LIFE NAGOYA/rise (愛知)	60	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			37	100.0%	157	100.0%	
<b>年齢階級</b>													
29歳以下	19	31.7%	1	4.5%	6	15.8%			11	29.7%	37	23.6%	<b>&lt;0.01</b>
30-39歳	19	31.7%	4	18.2%	12	31.6%			13	35.1%	48	30.6%	
40-49歳	17	28.3%	5	22.7%	12	31.6%			10	27.0%	44	28.0%	
50-59歳	5	8.3%	11	50.0%	6	15.8%			3	8.1%	25	15.9%	
60歳以上	0	0.0%	1	4.5%	2	5.3%			0	0.0%	3	1.9%	
合計	60	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			37	100.0%	157	100.0%	
<b>性別</b>													
男性	59	98.3%	22	100.0%	38	100.0%			37	100.0%	156	99.4%	0.65
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
その他	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	0.6%	
合計	60	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			37	100.0%	157	100.0%	
<b>居住地</b>													
北海道	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%			0	0.0%	2	1.4%	<b>0.03</b>
東北	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	0.7%	
北関東	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	0.7%	
東京	5	8.3%	0	0.0%	2	5.3%			3	11.5%	10	6.8%	
南関東	3	5.0%	0	0.0%	6	15.8%			1	3.8%	10	6.8%	
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%			0	0.0%	1	0.7%	
北陸	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	0.7%	
東海	43	71.7%	22	100.0%	23	60.5%			17	65.4%	105	71.9%	
近畿	5	8.3%	0	0.0%	2	5.3%			1	3.8%	8	5.5%	
中国	1	1.7%	0	0.0%	1	2.6%			0	0.0%	2	1.4%	
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
九州	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%			0	0.0%	1	0.7%	
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			4	15.4%	4	2.7%	
合計	60	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			26	100.0%	146	100.0%	
<b>セクシュアリティ</b>													
ゲイ (男性同性愛)	42	70.0%	19	86.4%	30	78.9%			19	73.1%	110	75.3%	0.27
バイセクシュアル	12	20.0%	3	13.6%	8	21.1%			6	23.1%	29	19.9%	
その他	6	10.0%	0	0.0%	0	0.0%			1	3.8%	7	4.8%	
合計	60	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			26	100.0%	146	100.0%	

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ n=60		対面配布 n=22	WEB配布 n=38	対面配布	WEB配布		
国籍								
日本	56	93.3%	20	90.9%	37	97.4%	113	94.2%
アジア	2	3.3%	2	9.1%	1	2.6%	5	4.2%
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか？（年度により質問対象を変更したため、総数と異なる）								
中心市街地	23	38.3%	10	45.5%	22	57.9%	55	45.8%
郊外住宅地	35	58.3%	11	50.0%	15	39.5%	61	50.8%
農村地域・漁村地域	2	3.3%	1	4.5%	1	2.6%	4	3.3%
山間部	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
離島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住形態								
独居	33	55.0%	11	50.0%	26	68.4%	70	58.3%
同居	27	45.0%	11	50.0%	12	31.6%	50	41.7%
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？								
ある	40	66.7%	21	95.5%	26	68.4%	87	72.5%
ない（今回が初めての検査）	20	33.3%	1	4.5%	12	31.6%	33	27.5%
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？								
ある	19	31.7%	9	40.9%	11	28.9%	39	32.5%
ない	41	68.3%	13	59.1%	27	71.1%	81	67.5%
過去1年の受検場所（複数回答）								
保健所	8	13.3%	4	18.2%	4	10.5%	16	13.3%
病院/クリニック	8	13.3%	4	18.2%	1	2.6%	13	10.8%
郵送検査	5	8.3%	3	13.6%	6	15.8%	14	11.7%
その他	3	5.0%	1	4.5%	1	2.6%	5	4.2%
1年間にない	21	35.0%	12	54.5%	15	39.5%	48	40.0%
これまでにない	20	33.3%	1	4.5%	12	31.6%	33	27.5%
過去1年間に、各地域でNGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか？								
受け取っていない	52	86.7%	16	72.7%	35	92.1%	103	85.8%
受け取ったけど、利用していない	2	3.3%	1	4.5%	2	5.3%	5	4.2%
受け取って、利用した	6	10.0%	5	22.7%	1	2.6%	12	10.0%
過去6か月に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）								
ゲイバー	22	36.7%	6	27.3%	12	31.6%	40	33.3%
ゲイイベント	5	8.3%	4	18.2%	4	10.5%	13	10.8%
ゲイショップ	2	3.3%	0	0.0%	2	5.3%	4	3.3%
有料のハッテン場	19	31.7%	12	54.5%	15	39.5%	46	38.3%
野外のハッテン場	7	11.7%	6	27.3%	5	13.2%	18	15.0%
いずれもない	24	40.0%	8	36.4%	15	39.5%	47	39.2%
過去6か月に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下のSNSや掲示板を利用しましたか？（複数回答）								
Twitter	18	30.0%	10	45.5%	20	52.6%	48	40.0%
Instagram	7	11.7%	3	13.6%	4	10.5%	14	11.7%
VERO	5	8.3%	1	4.5%	7	18.4%	13	10.8%
9monsters	45	75.0%	18	81.8%	30	78.9%	93	77.5%
Men's Net Japan	8	13.3%	2	9.1%	5	13.2%	15	12.5%
KO-MENSTV	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	1	0.8%
その他	9	15.0%	1	4.5%	2	5.3%	12	10.0%
いずれもない	10	16.7%	2	9.1%	7	18.4%	19	15.8%
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？								
よく知っている	5	8.3%	6	27.3%	5	13.2%	16	13.3%
少し知っている	23	38.3%	11	50.0%	10	26.3%	44	36.7%
あまり知らない	22	36.7%	3	13.6%	16	42.1%	41	34.2%
全く知らない	10	16.7%	2	9.1%	7	18.4%	19	15.8%
過去6か月に男性とセックスをしたことがありますか？								
ある	56	93.3%	22	100.0%	35	92.1%	113	94.2%
ない	4	6.7%	0	0.0%	3	7.9%	7	5.8%

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動・予防行動

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ n=56		対面配布 n=22	WEB配布 n=35	対面配布	WEB配布		
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）								
彼氏や恋人	18	32.1%	3	13.6%	7	20.0%	28	24.8% 0.17
友達やセクフレ	35	62.5%	10	45.5%	22	62.9%	67	59.3% 0.34
その場限りの相手	27	48.2%	13	59.1%	22	62.9%	62	54.9% 0.36
その他	1	1.8%	0	0.0%	1	2.9%	2	1.8% 0.73
過去6か月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか？								
ある	40	71.4%	12	54.5%	25	71.4%	77	68.1% 0.31
ない	16	28.6%	10	45.5%	10	28.6%	36	31.9%
過去6か月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか？								
ある	19	33.9%	12	54.5%	15	42.9%	46	40.7% 0.24
ない	37	66.1%	10	45.5%	20	57.1%	67	59.3%
過去6か月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか？								
ある	8	14.3%	7	31.8%	8	22.9%	23	20.4% 0.20
ない	48	85.7%	15	68.2%	27	77.1%	90	79.6%
過去6か月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？								
ある	4	7.1%	0	0.0%	4	11.4%	8	7.1% 0.26
ない	52	92.9%	22	100.0%	31	88.6%	105	92.9%
過去6か月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？								
ある	1	1.8%	0	0.0%	1	2.9%	2	1.8% 0.73
ない	55	98.2%	22	100.0%	34	97.1%	111	98.2%
過去6か月間に、セックスのときにドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）を使用したことがありますか？								
ある	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ない	56	100.0%	22	100.0%	35	100.0%	113	100.0%
過去6か月間のコンドーム使用状況								
非常用	46	82.1%	19	86.4%	34	97.1%	99	87.6% 0.11
常用	10	17.9%	3	13.6%	1	2.9%	14	12.4%

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ n=60		対面配布 n=22	WEB配布 n=38	対面配布	WEB配布		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP、プレップ）」について知っていますか？								
とてもよく知っている	13	21.7%	7	31.8%	9	23.7%	29	24.2% 0.51
聞いたことはある	44	73.3%	12	54.5%	25	65.8%	81	67.5%
まったく知らない	3	5.0%	3	13.6%	4	10.5%	10	8.3%
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP、プレップ）」を服薬したいと思いますか？								
服薬したくない/どちらかといえば	16	26.7%	8	36.4%	9	23.7%	33	27.5% 0.56
服薬したい/どちらかといえば	44	73.3%	14	63.6%	29	76.3%	87	72.5%
HIV陽性/無効	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
過去6か月間に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP、プレップ）」を服薬したことがありますか？								
ない	53	88.3%	18	81.8%	32	84.2%	103	85.8% 0.71
ある	7	11.7%	4	18.2%	6	15.8%	17	14.2%
HIV陽性/無効	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
これまでにかかったことがある性感染症はありますか？（複数回答）								
梅毒	7	11.7%	3	13.6%	7	18.4%	17	14.2% 0.64
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	0.8% 0.34
B型肝炎	3	5.0%	1	4.5%	4	10.5%	8	6.7% 0.51
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
クラミジア	4	6.7%	2	9.1%	3	7.9%	9	7.5% 0.93
尖圭コンジローマ	3	5.0%	0	0.0%	3	7.9%	6	5.0% 0.40
淋病	2	3.3%	2	9.1%	4	10.5%	8	6.7% 0.34
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
赤痢アメーバ	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8% 0.60
毛じらみ	11	18.3%	8	36.4%	11	28.9%	30	25.0% 0.20
性器ヘルペス	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%	2	1.7% <b>0.01</b>
その他	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8% 0.60
いずれもない	36	60.0%	10	45.5%	20	52.6%	66	55.0% 0.47

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 事後アンケートの結果

アンケート 回答のみ	ID使用		ID不使用		合計 n=72	Pearson カイ2乗
	対面配布 n=14	WEB配布 n=32	対面配布	WEB配布 n=26		
事後アンケート この検査キットをどこで受け取りましたか？ (R5年度)						
コミュニティセンターで	10 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 13.9%	<0.01
デジタル・ディスペンサーで	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	1 1.4%	
検査キット配布会場で	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.8%	
インターネットのWEBページで	2 14.3%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.2%	
商業施設・ゲイ向けイベント等で	0 0.0%	30 93.8%	25 96.2%	25 96.2%	55 76.4%	
その他	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
事後アンケート 郵送検査キットをこれまでに何回利用したことがありますか？ (R5年度)						
今回がはじめて	7 50.0%	22 68.8%	20 76.9%	20 76.9%	49 68.1%	0.22
何度か利用した	7 50.0%	10 31.3%	6 23.1%	6 23.1%	23 31.9%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
事後アンケート 指先からの採血は簡単でしたか？						
簡単だった	8 57.1%	22 68.8%	18 69.2%	18 69.2%	48 66.7%	0.73
どちらでもない	2 14.3%	5 15.6%	4 15.4%	4 15.4%	11 15.3%	
難しかった	4 28.6%	5 15.6%	3 11.5%	3 11.5%	12 16.7%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	1 1.4%	
事後アンケート 今回、ゆうそう検査を使ってみていかがですか？理由も教えてください。(R5年度)						
とても満足している	5 35.7%	22 68.8%	17 65.4%	17 65.4%	44 61.1%	0.19
まあ満足している	9 64.3%	9 28.1%	8 30.8%	8 30.8%	26 36.1%	
あまり満足していない	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	1 1.4%	
全く満足していない	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
事後アンケート 仮に、今回の検査でHIV抗体検査の結果が「要確認」となった場合、あなたはどうしますか？						
保健所を利用	10 71.4%	18 56.3%	17 65.4%	17 65.4%	45 62.5%	0.58
公的な検査機関を利用	0 0.0%	4 12.5%	3 11.5%	3 11.5%	7 9.7%	0.39
クリニックを利用	3 21.4%	14 43.8%	10 38.5%	10 38.5%	27 37.5%	0.35
何もしない	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	1 1.4%	0.41
その他	1 7.1%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.8%	0.42

# 東海地域MSMを対象 とした予防啓発活動

ANGEL LIFE NAGOYA 石田敏彦

日時：3月4日（土）13:00~18:00  
3月5日（日）09:30~17:00  
場所：東京都新宿区新宿 4-3-25 TOKYU REIT  
新宿ビル7階 コンフォート新宿

1

## 地域の商業施設数と連携

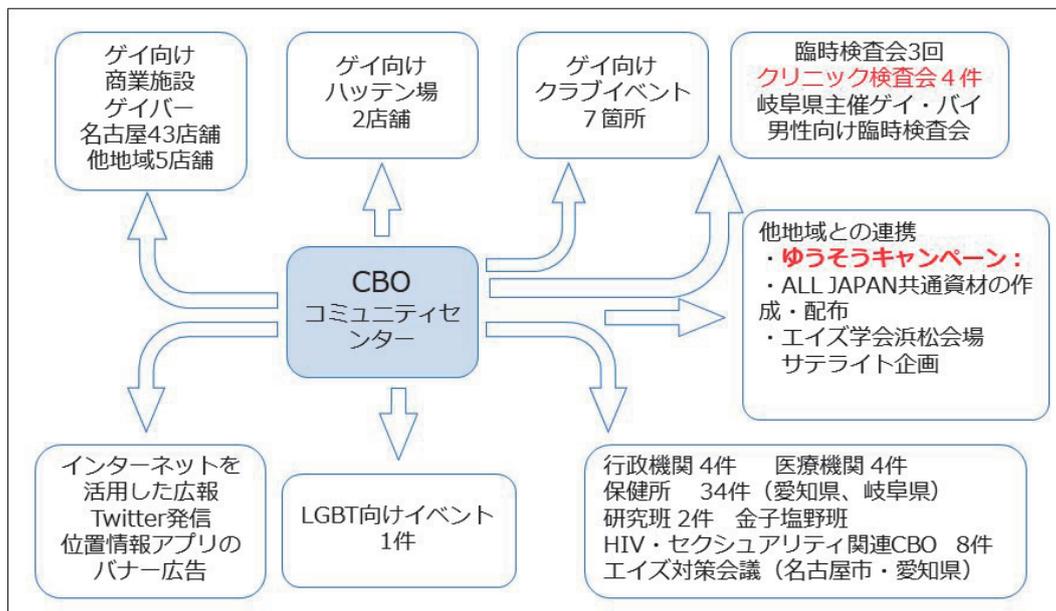
2022年度1月末時点

	地域の店舗数	連携店舗数	備考（カバー率）
ゲイバー	栄37伏見7名西6 一宮1岐阜2浜松3	栄34伏見5名西4一 宮1岐阜2浜松2	86.8%
有料ハッテン場	2	2	100%
ゲイナイト	7（含外1）	7	100%
ウリ専	2	0	0%
ゲイショップ	1	0	0%
サウナ・ホテル	1	1	100%
マッサージ	4?	1	25.0%
ゲイ雑誌	0	0	0%
スマホアプリ	5?	1（東京）	20%
ウェブサイト	?	0	0%
ゲイサークル	吹1合1柔1排1羽2	吹1合1柔1排0羽2	85.7%
その他（ ）	ダイニング3 RP1	ダイニング3 RP1	100%

2

# 普及啓発活動の状況

2022年度1月末時点



3

# コミュニティセンターの活動状況

2022年度1月まで

運営スタッフ数	: 常勤 0人
	非常勤 4人、ボランティア 1人くらい
開館曜日	: 日、月、木、金、土
開館時間	: 日14時～20時、月18時～21時、木19時～22時、金19時～22時、 土16時～22時
総来場者数*	: 679名 (前年比93.3%) イラスト展等なし、
初来場者数*	: 37名 (前年比119.4%) 実習なし・ネットでの認知増
相談件数*	: 6件 (前年比27.3% PrEPの問い合わせは勉強会内で)

センターにおけるプログラムの展開：  
 JOINT→ (コミュニティデビューイベント) 全年齢層のMSM  
 HOW TO!! (勉強会) 全年齢層全セクシュアリティ  
 僕らのゲイライフプロジェクト (座談会) ・虹色グラカフェ

# コミュニティセンターの活動状況

2022年度1月まで

1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	63	73	75	57	52	73	88	71	50	77			679
新規来場者数	1	7	3	2	4	2	3	5	3	7			37
相談件数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4			6

センターにおける利用者の傾向：

- \* コロナ禍で他団体の定例ミーティングの減少、新規来場者の誘致の機会が減った。
- \* 臨時検査会の問い合わせはあるが、来場しての対面相談や情報収集が減少したままで、来場者誘致につながっていない。

## 勉強会 HOW to!!

継続：2019年から

プログラムの目的・必要性：MSM向けにHIVやSTIの基礎知識と検査や予防の必要性を解説し、知識の取得と予防意識の向上を図る。  
対象となる人や施設：東海地域のMSM（ただし、MSMに限定しない）

予算：コミュニティセンター事業費（資材の印刷費）  
その他の投入資源：

実施内容（資材展開）：HIVの基礎→検査について→Safer SEX→HIV以外の性感染症→特集の5回シリーズテーマで毎月1回継続開催  
※誰が担当でも担当説明できる資料の作成  
※二部制 前半：テーマ内容 後半：郵送検査、クリニック検査、PrEPなど  
リピート参加者が飽きないように、**双六やカルタなどのゲーム要素**を取り入れた回もある

結果：毎月1回/年11回（11月はエイズ学会で休止）  
参加人数 毎回2~4名  
参加者の意見「郵送検査やPrEPなど、知らなかったことが聞けて良かった」  
「ここで紹介されたので、クリニック検査を受けに行くきっかけとなった」



# コミュニティデビューイベント JOINT→

継続：2017年から

プログラムの目的・必要性：新たにゲイコミュニティにデビューした若年層や東海地域に転入してきたMSMに対して友達づくりの機会を提供することで、センターの認知を向上させるとともに、参加後にHIVやSTIの情報に触れる機会を図る  
 対象となる人や施設：東海地域のMSMでrise来場者  
 予算：参加者からの参加費  
 その他の投入資源：センター事業費（告知フライヤーの印刷）

実施内容（資材展開）：毎月1回継続開催  
 花見、RP参加、池田公園で花火、池田公園夏祭り、紅葉狩り、演奏会、初詣など  
 ※参加費はほぼ材料代のみ

結果：毎月1回/年11回（11月はエイズ学会で休止）

参加人数 2～4名  
 参加者の意見「コミュニティに出ることの抵抗感が下がった。コミュニティへ出るようになって、郵送検査キットも受け取れた」



7

# コミュニティペーパーHANA

継続：2016年から

プログラムの目的・必要性：東海地域のMSMに向けて必要な情報（を提供し、HIVやSTIの基礎知識と検査や予防の必要性を開設し、知識の取得と予防意識の向上を図る。  
 対象となる人や施設：東海地域のMSM向け商業施設および利用者  
 予算：コミュニティセンター事業費（デザイン費、印刷費）  
 その他の投入資源：スタッフ個人負担（バーと関係性構築の飲食代）

実施内容（資材・WEB展開）：  
 表面にHIV感染状況、検査会の案内と結果報告などの必要な情報を記載、裏面に名古屋の商業施設（一宮1軒、岐阜2軒）のMAPを記載。ダブル表紙とし、モデルにはバーマスターやDQ（HANAガール）を起用している。

結果：各号2500部を印刷し、毎月1回のアウトリーチにてバーやハッテン場に配布、クラブイベント時にも配布  
 実施した反応：表紙モデルには地元のバーマスターやDQを起用することで、コミュニティとの連携の可視化と認知度の向上があった。



8

# オリジナルコンドーム

継続：2011年から

プログラムの目的・必要性：東海地域のMSMに向けて、セーフターセックスに最も有効なコンドーム使用への抵抗感を減らすとともに、携帯しやすいデザインにすることで予防意識の向上を図る。

対象となる人や施設：東海地域のMSM向け商業施設および利用者

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：

実施内容（資材展開）：

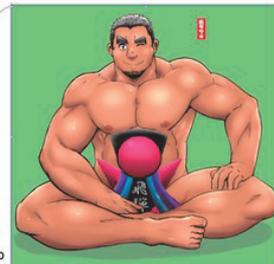
写真画像では、モデル人物への好みによって取得率が変わること、また男性モデルでは携帯しにくいなどの意見を参考にして、ゲイ同人誌やコミックの人気も高いことからイラスト画像を採用した。

結果：5000個を製作し、毎月1回のアウトリーチにてバーやハッテン場に配布、**クラブイベント時にも配布**。既に4000個消費

実施した反応：2Dキャラクターに人気があり、若年層のバーでは取得率が高い。



<http://rise.x0.to>



Twitter

9

# ゆうそう検査キャンペーン

継続：2020年から

プログラムの目的・必要性：保健所での無料HIV検査が休止している状況下で、郵送検査キットを利用したHIV検査を提供し、名古屋市および東海地域在住のMSMの受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。

対象となる人や施設：名古屋市および東海地域在住のMSM

予算：研究班事業費（資材等）

その他の投入資源：コミュニティセンター事業費（ポスター印刷費・賃貸費）

実施内容（広報実施）：8月1日～10月31日

検査項目：HIVと梅毒

配布形態：

コミュニティセンターriseでの対面およびWEB申込

コミュニティセンターriseでの対面：20キット

ハッテン施設での半対面：20キット

WEB申込：92キット



# ゆうそう検査キャンペーン

継続：2020年から

配布形態：

ハッテン施設（コロナクラブ）のペントハウスを1晩貸し切り、郵送検査キットを配布

ハッテン施設の脱衣ロッカー側面にも掲示協力

半対面：20キット



# 性感染症検査会（iTesting）

継続：2021年12月から

プログラムの目的・必要性：名古屋市主催でHIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎の4種必須の臨時検査を提供し、受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。

対象となる人や施設：東海地域在住のMSMを中心に、誰でも受検可能（MSMに限定しない）

予算：地方行政事業費（含む**アプリ起動時広告**）

その他の投入資源：コミュニティセンター事業費（ポスター印刷費など）

実施内容（広報実施）：国際デザインセンタービル6階（名古屋市日曜検査で使用施設）

6月26日・9月4日・12月4日 10時～16時 **予約制**

検査結果をネット（アルバコーポレーション協力）で通知

オリエンテーションは事前に予約時に 相談対応

陽性者には医療機関への紹介状を発行

6月26日

受検者246名

HIV+ 5名（重2）

TPHA+ **47名**

HBs抗原+1名

HCV抗体+2名

9月4日

受検者270名

HIV+0名

TPHA+ **46名**

HBs抗原+1名

HCV抗体+1名

9月4日

受検者280名

HIV+2名（重2）

TPHA+ **32名**

HBs抗原+1名

HCV抗体+0名

名古屋市 無料 性感染症検査会

アイタスティング

**iTesting**

なんと! 4種類の検査が **無料!!**

HIV 梅毒 B型肝炎 C型肝炎

結果は翌日以降 WEBサイトで 4種類無料は 減多にない!!

# 東海地域クリニック検査

継続：2020年から

プログラムの目的・必要性：保健所での無料HIV検査が休止している状況下で、HIV検査を提供し、愛知県および岐阜県在住のMSMの受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。  
 対象となる人や施設：愛知県および岐阜県在住のMSM  
 予算：研究班事業費（出会い系アプリ起動時広告）  
 その他の投入資源：コミュニティセンター事業費（ポスター印刷費）

実施内容（広報実施）：6月1日～7月30日  
 検査項目：HIVと梅毒  
 協カクリニック：  
 たわだ泌尿器科（名古屋市中区）  
 いむれ内科クリニック（豊橋市飯村）  
 操健康クリニック（岐阜市）  
 ひろせ腎・泌尿器科クリニック（各務原市）

受検者 30+6+7+0 = 43名  
 HIV+ 3名  
 TPHA+ 11名



13

## 東海地域クリニック検査 実施結果

2020年度	
2021/1/12-2/26	受検者31名（HIV陽性1名、梅毒陽性9名）
2021年度	
第1期 2021/8/1-9/30	受検者48名（HIV陽性1名、梅毒陽性9名）
第2期 2022/1/31-2/26	受検者9名（HIV陽性1名、梅毒陽性3名）
2022年度	
2022/6/1-7/30	受検者43名（HIV陽性3名、梅毒陽性11名）

3年間の合計  
 受検者131名（HIV陽性率4.6%、梅毒感染率24.4%）

# 岐阜県主催クリニック検査

新規

プログラムの目的・必要性：保健所での無料HIV検査が休止している状況下で、世界エイズデーに合わせ、HIV検査を提供し、岐阜在住のMSMの受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。  
 対象となる人や施設：岐阜県在住および周辺のMSM  
 予算：地方行政事業費（出会い系アプリ起動時広告）  
 その他の投入資源：コミュニティセンター事業費（ポスター印刷費）

実施内容（広報実施）：  
 松波総合病院（岐阜拠点病院）電話予約制  
 検査日 11月29日、12月1日・3日・6日・8日  
 検査項目：HIVと梅毒  
 結果通知 対面か電話通知を選択可

ページタイトルとスクリーンクラス	表示回数	ユーザー
	3,836 全体の100%	1,146 全体の100%
1 岐阜県主催ゲイ・バイ男性向け無料検査 (11/29~12/8) - community center rise	2,180	819
2 community center rise - いつもあなたの居場所	699	237

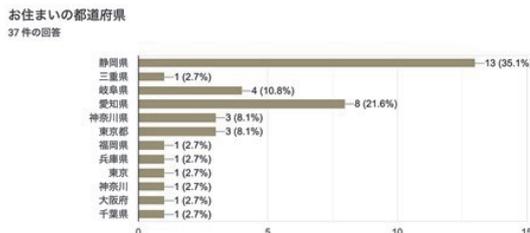
受検者 9名  
 HIV+ 0名  
 TPHA+ **4名**  
**確認検査未実施**

# エイズ学会サテライト企画

新規

プログラムの目的・必要性：日本エイズ学会総会・講演会が浜松駅前まで開催されるのに合わせ、浜松在住のMSMにもPrEPを紹介し、感染予防の意識付けをする機会とする。  
 対象となる人や施設：浜松市在住および周辺のMSM  
 予算：研究班事業費（会場賃貸・フライヤー印刷費など）  
 その他の投入資源：コミュニティセンター事業費（ポスター印刷費）

実施内容：会議室対面とオンライン配信  
 パーソナルヘルスクリニック院長 塩尻先生  
 ぷれいす東京 生島理事長（MC）  
 とうま（MC）  
 加藤アゴミサイル（静岡市DQ） りっくん

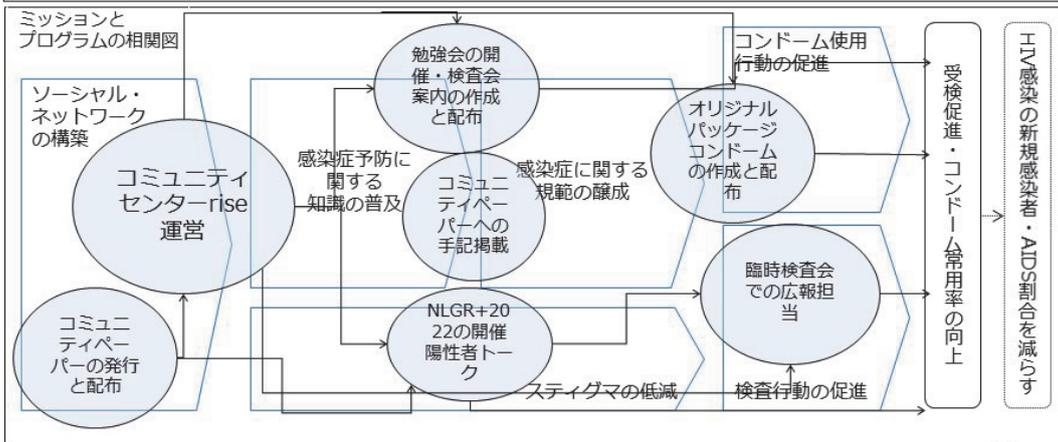


16

# 2022年度：活動のミッション

活動のミッションや目標：

東海地域での保健所のHIV抗体検査が休止になっている状況で、MSMにおける新規AIDS患者数を減少させることを目指して、研究班との協働によるクリニック検査や郵送検査キット配布による受検促進と、地方行政主催で開催される新たな形態の臨時検査会のMSMへの広報強化を行って、**新規感染者のAIDS割合を29%まで下げる**ことを目標とする。また、コミュニティセンターriseを拠点としながら、ゲイコミュニティに向けてネット媒体での情報発信を強化することを目標とする。さらに、**近隣他県との連携を強化する**。

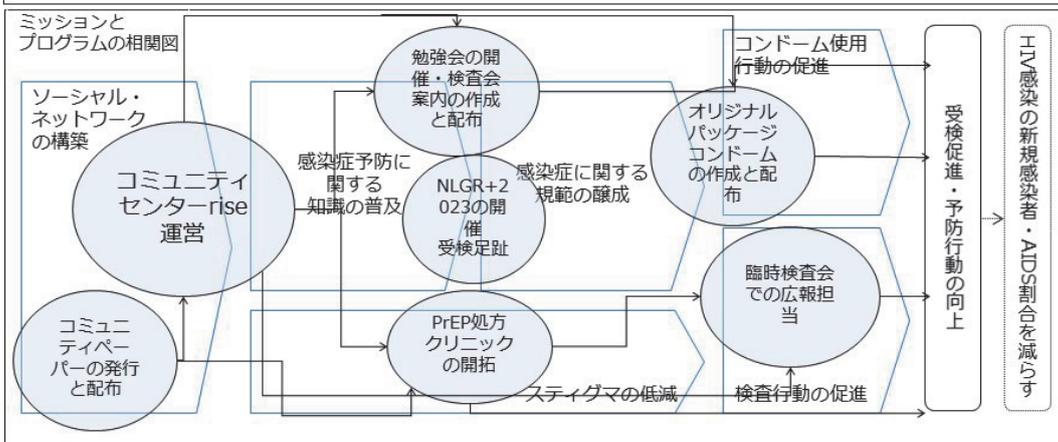


17

# 2023年度：活動のミッション

活動のミッションや目標：

東海地域での保健所のHIV抗体検査が以前より縮小されている状況で、MSMにおける新規AIDS患者数を減少させることを目指して、研究班との協働による**クリニック検査や郵送検査キット配布**による受検促進と、地方行政主催で開催される新たな形態の臨時検査会のMSMへの広報強化を行って、**新規感染者のAIDS割合を29%まで下げる**ことを目標とする。また、東海地域におけるPrEPの処方やみまもり検査を実施するクリニックを**1軒以上開拓**する。ゲイコミュニティに向けてネット媒体での情報発信を強化することを目標とする。



18